

木工科

1 指導の方針

- (1) 人との接し方や協調性を育てる。
- (2) 働く意欲や責任感を育てる。
- (3) 自ら判断し、主体的に行動する態度を育てる。
- (4) 安全管理、安全教育の徹底を図る。
- (5) 地域社会への貢献につながる学習を通し、自己有用感の向上を図る。

2 製品紹介

		
ミニクリスマスツリー	おぼん	箸
		
折りたたみテーブル	ベンチ	まな板
		
木べら・炒めべら	バターナイフ	

3 働く力6観点に基づく指導

		
4-(1)挨拶・返事 4-(2)報告・質問・相談 - 挨拶は人間関係作りの基本とし、自分から元気な声で積極的に行う習慣を養います。 - 作業中の報告・質問・相談では、会話の形式を覚えるところから、状況に合った伝え方・話し方を判断するところまで、個々のニーズに合わせて指導しています。	3-(3)協力意識 3-(4)感謝の心・礼儀作法・マナー - 製品の組み立てでは、チームワークを重視しています。仲間同士、職場にふさわしい言葉のやりとりを心がけると共に、全体の作業が円滑に進むよう、今すべきことを考え行動する習慣を養います。 - 周囲の協力に気づき、感謝の心を伝え合うことも指導しています。	5-(1)状況把握 5-(2)判断 - 作業後の後片づけと清掃は、周囲の状況を見て行動するための学習場面といえます。目標の時間内に迅速に掃除を完了できるように、素早い状況把握と行動を促します。 - 清掃の進み具合や仲間の状況を見て、どこを手伝うべきか自分で判断する力を養います。
		
2-(1)自己理解 - 作業日誌の記入を通し、働く上での自己の課題や目標を自覚し、達成状況を振り返る機会を設けています。 - 自己評価と、教師からの評価の双方に向き合い、努力すべき点を見出す中で、深い自己理解を促します。	1-(2)安全管理 - 工作機械の使用は危険が伴うため、自分自身の体調が万全であること、集中力が保てることを前提としています。 - 事故防止のため、周囲の安全確認と、スイッチ操作時の声かけを徹底します。	1-(3)集中力・体力 研磨作業は、最も根気と集中力が必要な作業です。仕上がり具合をよく観察し、目指す品質になるまで繰り返し磨いていきます。

4 キャリア発達の促進

ウッドスタート事業

平成25年度より雨竜町と協定を結び行っている事業です。

事業Aでは、1歳6ヶ月を迎える町内幼児親子を対象に、木工科の作業学習で製作した積み木セットを贈呈します。事業開始から5年間で、積み木セットを贈呈した町内のご家庭は、90組に上ります。

事業Bでは、近隣の保育施設に大型の積み木セットを贈呈しています。

積み木セットは、東京おもちゃ美術館の監修を受け、玩具安全基準を満たす寸法でデザインされています。積み木の原材料は北海道産のセン、カバ、クルミ材を使用。塗装には、お米など自然素材を原料とする塗料を使用し、お子さんが積み木を口に含んでも心配がないよう、身体にやさしい素材にこだわりました。

積み木贈呈の際には、製作した生徒と、積み木で遊ぶ子ども達が交流する機会を設けています。生徒達にとって、自分たちの仕事に人に喜ばれ、人の役に立つことを実感する瞬間でもあります。このような経験を通し、働く事への意欲や責任感、高い品質を求める姿勢など、就労への意識を高めていくことをねらいとしています。

働く力6観点との関連では、2-(2)「働くことの意義・意欲」とのつながりを重視しています。

